

## 令和4年度 長吉六反中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

### 調査結果から

#### 【成果と課題】

##### ○全国学力・学習状況調査結果

<国語> 全国の平均正答率と比較して25ポイント低く、また平均無回答率は14.3ポイント高かった。  
「言語文化に関する事項」については比較的大阪市の平均値に近づいている。

<数学> 全国の平均正答率と比較して19.4ポイント低く、また平均無回答率は15.2ポイント高かった。  
「データの活用」については比較的大阪市の平均値に近づいている。

<理科> 全国の平均正答率と比較して17.3ポイント低く、また平均無回答率は4.9ポイント高かった。  
「粒子を柱とする領域」については比較的大阪市の平均値に近づいている。

##### <生徒質問紙>

◆ 「家で自分で計画を立てて勉強していますか」という質問に対して肯定的に答えた生徒が37.8%で、大阪市平均(51.1%)、全国平均(58.5%)を大きく下回っている。

◆ 平日2時間以上ゲームをする生徒は80%で、大阪市平均(50.3%)、全国平均(55.6%)を大幅に上回っている。

◆ 平日2時間以上スマホなどでSNSや動画視聴を行う生徒は64.4%で、大阪市平均(58.8%)、全国平均(52.0%)を上回っている。

##### ○中学生チャレンジテスト(3年生)結果

<国語> 「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関しては、平均近くまで得点できた。

<社会> 「短答式」の問い合わせには、平均近くまで得点できた。

<数学> 「図形」の問い合わせには、平均近くまで得点できた。

<理科> 「選択式」の問い合わせには、平均近くまで得点できた。

<英語> 「聞くこと」の問い合わせには、平均近くまで得点できた。

#### 【今後に向けて】

◆授業規律を確保しつつ、生徒の学力向上のための授業改善に向けた取組として、引き続き学力向上支援チーム事業と連携し、若手教員の授業力向上を進めながら、ICT機器や1人1台端末を利用した授業を積極的に行う。

◆生徒質問紙より、学習習慣が不十分であり、加えてスマホによるSNS利用や動画視聴、特にゲームをすることが長時間に及んでいる結果となった。習熟度別・少人数授業などで個に応じた学習を進めるとともに、家庭におけるスマホなどの利用時間を決めるなど、自分自身の生活において計画性をもてる取組を進めていかなければならない。

◆3年生チャレンジテストの検証グラフからも明らかな通り、「記述式」の解答を求められる問題に対して特に正答率が低くなっている。文章を「読む力」、解答を「書く力」の育成は一朝一夕にはいかないが、新聞や図書館における取り組み、学年によっては「コグトレ」などを活用して、少しづつでも「読む力」「書く力」がつく取り組みをさらに深化、継続していく。

令和4年度 長吉六反中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—